



令和4年度 さいたま市タウンミーティング 〈開催概要〉



●開催テーマ

デジタルでシンカするさいたま市
～デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進～

- 「さいたまデジタル八策」への意見
- 重点的に取り組んでほしい分野は？
- 配慮してほしいことは？

開催日時： 令和4年7月23日（土）
9:30～11:00
会 場： 武蔵浦和コミュニティセンター
8階 第7・8・9集会室
参加者： 16名（傍聴者4名）
市出席者： 市長
都市戦略本部デジタル改革推進部
事務局： 市長公室秘書広報部広聴課

●テーマの説明・意見交換のねらい

コロナ禍を契機に、国、地方公共団体を含めた行政全体のデジタル化の遅れが強く認識されたところです。デジタル庁が創設され行政のデジタル化が急ピッチで進められる中、本市においては、令和2年11月にDX推進本部を設置、令和3年度には、将来を見据えて中長期的にDXを推進するため、「さいたまデジタル八策」を策定し、取組を進めてきました。

タウンミーティングでは、デジタルによって、進める進化と深める深化の二つの軸でシンカするさいたま市について御意見を伺いました。



●参加者からの御意見 これら以外にも多くの御意見をいただきました。

- 学校運営のDXが十分ではない
- 高齢者への配慮が必要
- 全てをデジタル化するのではなく、従来通りの方法も残した方がよい
- DX推進には、ベンチャー企業も入れるとよい
- 市職員のデジタル教育に努めてほしい
- デジタル化に積極的な人にメリットがあるように進めてほしい
- オンラインで授業を受ける際の通信環境を改善してほしい
- 大規模災害時のデータのバックアップについて勉強してほしい

●御参加いただき、ありがとうございました！



当日は皆様からたくさんの御意見をいただきまして、ありがとうございました。デジタルを活用することで、より暮らしやすくなる、ということが望ましいと思いますので、そういったことを忘れずに意識して進めていきたいと思っております。

デジタルは、市民サービスや業務効率を高める重要なツールですので、これまで以上にスピード感を持ってDXを推進し、より利便性の高い市民サービスの提供や業務の効率化に向けて取り組んでいきます。

令和5年3月 さいたま市長 清水 勇人